

インドでのエネルギー事業拡大に向けた再生可能エネルギー事業への参画について

2025年3月10日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆）は、商業および工業需要家向け再生可能エネルギー（以下、再エネ）供給事業において、インドにおけるリーディングカンパニーである Clean Max Enviro Energy Solutions（以下、Clean Max 社）が開発・運営する、インドでの再エネ事業に参画します。

本件は Daigas グループとして初めてインドでの再エネ事業に参画するもので、既に参画している都市ガス供給事業と併せてエネルギー事業を拡大し、同国の経済成長と脱炭素推進に貢献します。

インド政府は、経済成長に伴い、長期的に電力需要の大幅な増加が見込まれる中、同国の恵まれた日射量や風況等の自然条件を背景に、再エネを 2030 年までに合計 500GW 導入することを目標に掲げ、様々な支援策を展開しています。

当社は、子会社である Osaka Gas Singapore が、株式会社国際協力銀行（JBIC）と共に設立した日系コンソーシアムを通じて、Clean Max 社との合弁会社である Clean Max Osaka Gas Renewable Energy Pvt. Ltd.（以下、CORE）を設立します。CORE は、Clean Max 社が保有する再エネアセットの一部を譲り受けると共に、新たなアセット開発を行い、3 年後には合計約 400MW の再エネアセットを保有する予定です。

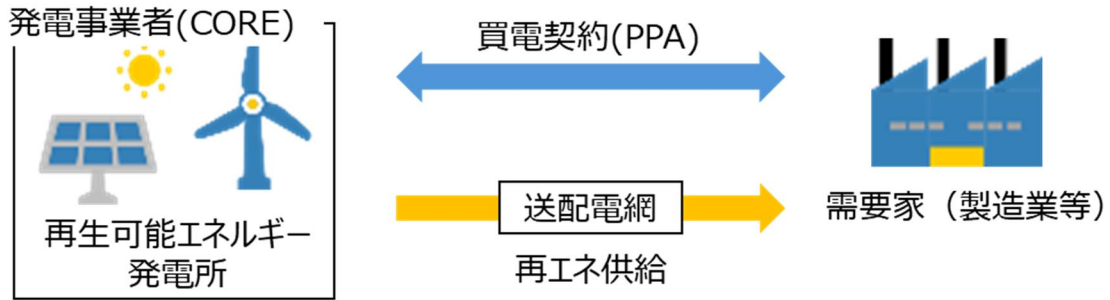
発電した再エネ電力はコーポレート PPA により販売します。コーポレート PPA は、再エネ電力を、商工業顧客に対して電力系統を通じて直接販売する方法で、顧客の脱炭素化に貢献できます。総合的な開発力や運営力が求められるため、Daigas グループが日本・インドにおいて培ってきたノウハウを用いて、顧客の獲得支援などを通じて事業に貢献します。

また、Clean Max 社とは今回の協業をきっかけに再エネ事業の拡大に加え、将来的なグリーン水素や e-メタン等の新エネルギーの可能性など、更なる協業深化について協議を行います。

Daigas グループは、中期経営計画 2026「Connecting Ambitious Dreams」において、成長市場のアジアで事業展開を加速していくという方針を掲げています。エネルギーインフラや再エネの開発を通じ、アジア諸国の経済発展とエネルギーの低・脱炭素化に貢献してまいります。

1. 事業概要

【コーポレート PPA スキーム】



【事業エリア】



【日系コンソーシアムと Clean Max 社の代表者】



【Clean Max 社が運営中の再エネアセット】



2. 各社の概要

【Clean Max 社】

会社名	Clean Max Enviro Energy Solutions Pvt. Ltd.
設立	2011年1月
所在地	4th Floor, The International, 16 Maharshi Karve Road, New Marine Lines, Cross Road No.1 Churchgate, Mumbai, Maharashtra, India
代表者	Kuldeep Jain
事業内容	再エネプロジェクトの開発、設計施工、運転維持管理等

【Osaka Gas Singapore】

会社名	Osaka Gas Singapore Pte. Ltd.
設立	2013年3月
所在地	182 Cecil Street #30-02 Frasers Tower, Singapore
代表者	辻村 秀臣
事業内容	エネルギー関連事業に関する調査、開発、投資および東南アジア・南アジアのグループ企業の管理・運営

【日系コンソーシアム】

会社名	DJ Renewables Pte. Ltd.
設立	2024年12月
所在地	182 Cecil Street #30-02 Frasers Tower, Singapore
代表者	篠原 岳
事業内容	インド再エネ事業の管理・運営

【CORE】

会社名	Clean Max Osaka Gas Renewable Energy Pvt. Ltd. ※Clean Max Yamuna Pvt. Ltd.として設立済。今後、上記名称に変更を行う予定。
設立	2024年12月 ※Clean Max Yamuna Pvt. Ltd.の設立日を記載
事業内容	インドにおける再エネアセットの開発・運転維持管理

以上